

November 29, 2010

JAWIC

Seattle News

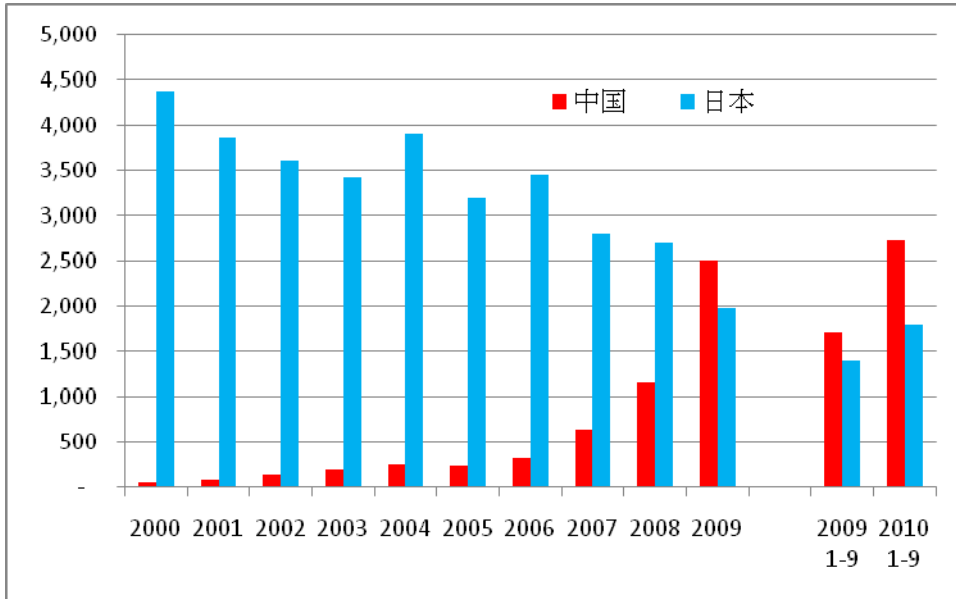
続伸する中国向け木材輸出

BC州から中国向け9月の針葉樹製材輸出量は43.8万m³で、月別の最高を記録した8月をさらに上回った(図1)。1-9月累計は273万m³で前年同期比+59%となっており、量のみならず額的にも日本を凌いでいる。2010年計では350-400万m³になるものと見込まれる。BC州からの針葉樹製材輸出量に占める中国向け割合は2008年の約5%から2009年には14%、2010年9月に限れば26%にまで上昇している。製材のみならず、針葉樹丸太についても1-9月の輸出額を見ると前年同期比の3倍を超えている。

米国から中国向けの針葉樹製材輸出は絶対量としてはBC州には遥かに及ばないが、1-9月累計は19万m³で前年同期比+40%となっている(図2)。針葉樹丸太輸出量は1-9月累計212万m³とすでに前年同期の3.9倍となっている(図3)。

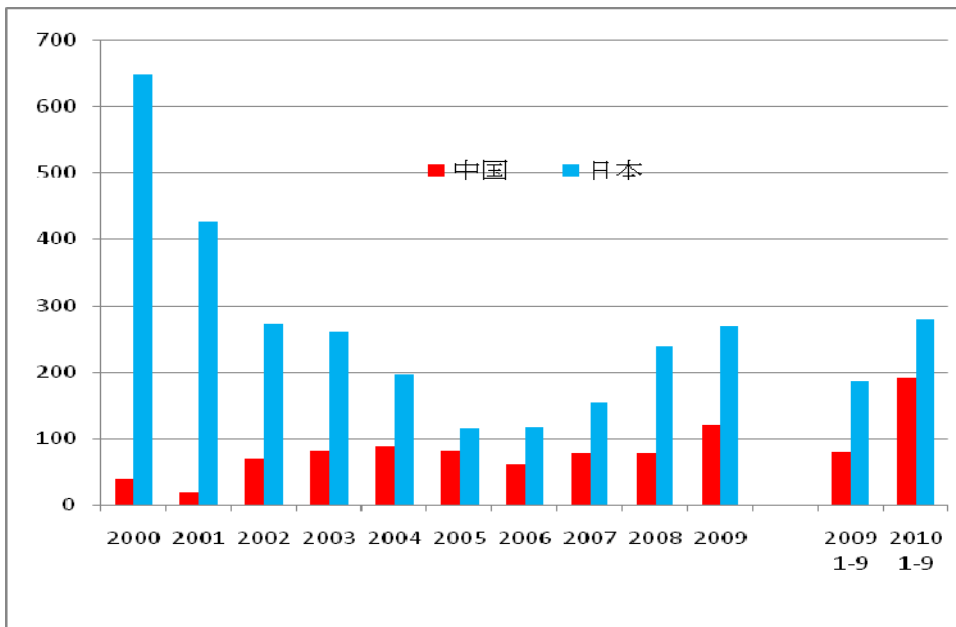
この勢いは今後も続くのかどうか。ロシアがWTOに加盟して丸太輸出税を引下げるとのニュースが伝わり、北米の木材業界では中国がロシア丸太輸入を再び増大させ、北米からの輸入を減少させるのではないかと憶測が出てきている。特に米国丸太についてはかつて中国が洪水的に輸入し、パタッとやめたという経験しているだけに、やや懐疑的に見ている関係者もいる。現在は米国国内市況が低迷しているが、数年後(3年後?)に住宅分野が活気を取り戻し木材価格が上昇すれば、大半の米国企業の輸出意欲は減退するであろう。BC州は海外市場開拓に継続的に取り組み、米国への依存度を抑えることを目標にしている。このため中国への期待度は大きく、これまで長年かけて発展させ定着しつつあるビジネスを維持拡大することに専念するであろうから、製材輸出が大きく落ち込むことはないものと考えられる。

図1：BC州からの中国および日本向け針葉樹製材輸出量（1000m3）



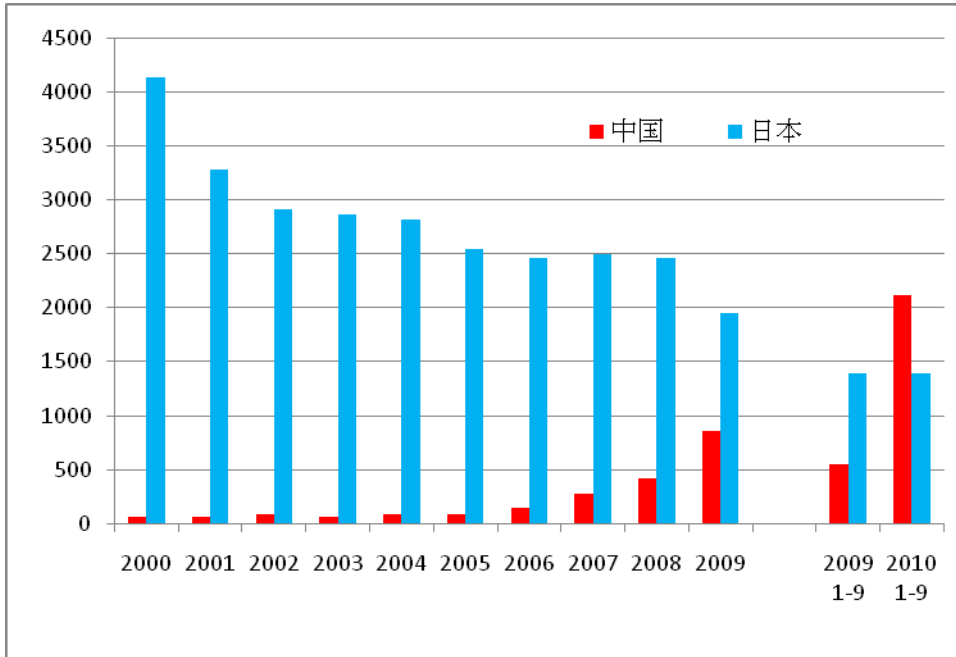
資料：Statistics Canada

図2：米国からの中国および日本向け針葉樹製材輸出量（1000m3）



資料：米国農務省

図3：米国からの中国および日本向け針葉樹丸太輸出量（1000m3）



資料：米国農務省